

インフルエンザワクチン



インフルエンザワクチンは、当初予想した流行予測菌種が変更になったため生産が間に合わず、現在数量が不足しております。毎週少量ずつしか、入荷せず医療機関でも大変困窮しております。



十一月の末には充分量供給される予定なのでしばらく、インフルエンザに注意されてお過ごし下さい。



ちょっと困った胆石症2例

最近ちょっと困った胆石症を経験しました。



①金曜の夕方、診療終了間近に腹痛を訴える50才代の女性が来院

数日前より痛みを感じていたが、本日午後に急に痛みが強まったという。痛くて仕方ないという風情。

診察して見ると右の下腹部が強く痛むという。速くしないと時間的に救急入院もむずかしくなってしまう。

採血してみると血液の白血球は16500と高値。急性虫垂炎とすると、すぐ手術してほしい。

病院をいくつか当たったが、外科医のいる病院はなかった。

しかし、小田原市立病院の救急外来で受けてくれるというのですぐ送った。



新宿御苑 (昨年の様子)



退院後の患者の話では胆石による胆のう炎ということでも手術を受けた。という事でした。

目白庭園 (昨年の様子)



②午前中、予約検査が立てこんでいる所に70才代男性が、胃が痛む、検査をしてくれという。見てみるとかなり痛そう。

本日は他の検査予定があつて胃の検査はできない。痛みの感じから、胃の痛みでないかも知れない。

あまり苦しそうなので、超音波検査をしてみると、胆のうが大きく膨れあがり、中に胆石がある。

これは胆石による胆のう炎らしいと病院に連絡。2〜3日後手術になったらしい。

目白庭園 (昨年の様子)



この2例は胆石症が元で緊急手術になった例ですが、私達が健診で胆石症を発見しても、その時当人は痛くもかゆくもないので、心配性の方は手術する人もいるが大抵の人はそのまま様子を見ています。

今回お話しした2例目の方は以前より胆石症といわれていたようです。

胆石があつても症状のない時は、最近流行の腹腔鏡手術でお腹に穴を3個開けるだけで済んでしましますが、胆石症がもとで胆のう炎を起こしてしまうと腹腔鏡手術が困難となりかなり大きくお腹を切らなければいけなくなる

ことがあります。ですから胆石症と診断されたら早速手術する方が良いと思います。胆石をそのままにしておいて、100才になつて手術した方もおられます。

院長

11月・12月の休診日

休診 日曜・祭日
午後休診 水曜・土曜

H30

1月26日(金) 午後休診



E・メールを送って下さい。

norikazu@okutu.jp

年末年始休診のお知らせ

日曜・祝祭日休診 水曜日・土曜日午後休診

	12/27 (木)	12/28 (木)	12/29 (金)	12/30 (土)	12/31 (日)	1/1 (月)	1/2 (火)	1/3 (水)	1/4 (木)
午前	○	○	休診	休診	休診	休診	休診	休診	○
午後	×	休診	休診	×	休診	休診	休診	×	休診

1月5日(金)より平常通り診療します。

みなさんの質問や投稿をお待ちしております。
☆受付けからのお願い
月初めには必ず保険証を受付にお出し下さい。
診察券は毎回お持ち下さい。

☆編集に当たり校正には十分注意致しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。